

- 問1 日米修好通商条約では、函館、長崎、新潟、兵庫のほかにもう一つの港を開東地方に開くことが定められました。当初は「神奈川」とされていましたが、実際にはその近隣に建設され、生糸の輸出などで幕末の貿易の中心地となった港はどこか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
1. 横浜 2. 長崎 3. 新潟 4. 函館
- 問2 1853年のペリー来航を受け、その翌年に日本が長年の鎖国体制を終結させて「開国」へと踏み出すきっかけとなった条約について述べたものとして、正しいものはどれですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
1. アヘン戦争で清が敗北したことを受け、外国船を無条件で退去させる方針を転換した。 2. 長崎・神奈川・兵庫・新潟・箱館の5港を開港し、アメリカとの自由な貿易を開始した。 3. 下田と箱館の2港を開港し、アメリカ船に対して薪水や食料を供給することを認めた。 4. アメリカに領事裁判権を認め、日本側に関税自主権がないという不平等な内容を合意した。
- 問3 19世紀前半、イギリスは清から茶や絹を大量に輸入する一方で、清への銀の流出を食い止めるために、植民地であったインドからある品物を清へ密輸させる仕組みを整えました。この貿易構造において、インドから清へと送られた品物は次のうちどれですか。 (2024年 大分県公立入試 類似)
1. 鉄鉱石 2. アヘン 3. 綿織物 4. 香辛料
- 問4 幕末の動乱において、1860年に起きた「桜田門外の変」に至るまでの背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 徳島県公立入試 類似)
1. 薩摩藩の島津久光の行列を横切ったイギリス人が、藩士に殺傷されたこと。 2. 薩摩藩と長州藩が、土佐藩の仲介によって軍事同盟を結んだこと。 3. 江戸幕府が朝廷に対して政権を返上し、武家政治を終わらせる決断をしたこと。 4. 大老の井伊直弼が、自身の政策に反対する勢力を「安政の大獄」で厳しく弾圧したこと。
- 問5 江戸幕府が1825年に出した「異国船打払令」と、1842年に出した「薪水給与令」の内容の違いを説明した文として、正しいものはどれですか。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. 異国船打払令が日本の全港を閉鎖する方針だったのに対し、薪水給与令は長崎と横浜の2港に限り開港する方針である 2. 異国船打払令が近づく外国船を無差別に攻撃する方針だったのに対し、薪水給与令は燃料や食料を与えて退去させる方針である 3. 異国船打払令がオランダ以外の船を拒絶する方針だったのに対し、薪水給与令はアメリカとの通商を全面的に認める方針である 4. 異国船打払令がキリスト教の布教を禁止する方針だったのに対し、薪水給与令はキリスト教徒に限定して入国を認める方針である
- 問6 19世紀の日本の外交に関する年表において、1854年の日米和親条約による開港地に続いて、1858年に結ばれた条約によって新たに開港することが決められた場所の組み合わせはどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
1. 下田・箱館 2. 神奈川（横浜）・長崎 3. 門司・釜山 4. 鹿児島・那覇
- 問7 日本において水野忠邦が天保の改革を進めていた1840年ごろ、世界史の年表において同時期に位置づけられる東アジアの出来事として正しいものはどれですか。 (2022年 青森県公立入試 類似)
1. ロシアの南下政策を阻止しようとするイギリスとフランスが、オスマン帝国を支援して黒海周辺で戦ったクリミア戦争 2. 日本が清に勝利して下関条約を結び、台湾の領有や多額の賠償金の獲得を認めさせた日清戦争 3. キリスト教の教えをもとに「太平天国」を樹立した農民たちが、清の打倒を目指して起こした大規模な反乱 4. イギリスが清に勝利して南京条約を結び、香港の割譲や5つの港の開港を認めさせたアヘン戦争
- 問8 1853年、アメリカ東インド艦隊司令長官のペリーが4隻の軍艦を率いて来航し、江戸幕府に対して正式に開国を求めた地はどこですか。現在の神奈川県横須賀市に位置する場所を選択してください。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
1. 函館 2. 下田 3. 長崎 4. 浦賀
- 問9 1867年に開催されたパリ万国博覧会に関する歴史的な状況について、適切な説明はどれですか。 (2024年 山梨県公立入試 類似)
1. 江戸幕府がすべての藩を代表して参加し、日本の近代化が完了したことを宣言した 2. 幕府と薩摩藩がそれぞれ独自の立場で出品し、国際社会において自らの正当性を主張し合った 3. 諸藩が一致団結して攘夷を訴えるため、海外製品の輸入禁止を諸外国に要求した 4. 薩摩藩と長州藩が連合して幕府名義の出品を妨害し、万博への参加を中止させた
- 問10 1858年の日米修好通商条約締結後、日本は開国して本格的に諸外国との貿易を開始しました。この貿易において、最大の輸出港となった横浜から大量に輸出された品物と、その輸出が国内経済に与えた影響について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
1. 茶が大量に輸出されたことにより、国内で米の生産が放棄され、深刻な飢饉が発生した。 2. 金が大量に輸出されたことにより、国内の金銀比価が安定し、貨幣価値が高まった。 3. 生糸が大量に輸出されたことにより、国内で品不足となり、物価が急激に上昇した。 4. 綿織物が大量に輸出されたことにより、国内の綿織物業が急速に発展し、農村が潤った。
- 問11 江戸幕府が1842年に出した、漂流船への物資補給を認める方針転換の背景について、当時の国際情勢に基づいた説明として最も適切なものはどれか。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
1. オランダ国王から開国を勧告する親書が届き、鎖国体制を根本から見直す必要性を感じたため。 2. アヘン戦争で清がイギリスに敗れたことを知り、強硬な攘夷政策による軍事衝突を避けようとしたため。 3. ロシアの使節ラクスマンが根室に来航し、通商を求めて幕府に強い圧力をかけたことに対抗するため。 4. ペリーが浦賀に来航して開国を強く求めたため、対等な交渉を行う準備として方針を緩めたため。
- 問12 19世紀前半の国際貿易において、イギリス・インド・清の三地点を結ぶ「三角貿易」が行われました。この貿易によって清の国内で発生した経済的・社会的な変化について述べた説明として、最も適切なものは次のうちどれですか。 (2024年 大分県公立入試 類似)
1. イギリスへの茶の輸出が急増したことで、清の国内に大量の金が入流した。 2. インドの密輸入の対価として、多額の銀が国外へ流出し、国家財政が窮乏した。 3. インドから綿織物が大量に輸入されたことで、清の伝統的な絹織物業が成長した。 4. イギリスから機械類を輸入したことにより、清の国内で産業革命が始まった。
- 問13 江戸時代の日本における対外関係について述べた文として、正しいものはどれか。長崎の役割と、幕末に開港された下田の歴史的背景を踏まえて選びなさい。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
1. 江戸時代を通じて、九州の長崎にある出島ではオランダや中国との貿易が行われ、西洋の学問や文化が流入する拠点となった。 2. 平清盛が整備した長崎の港は、江戸時代には出島が築かれ、イギリスやフランスとの自由貿易が認められる窓口となった。 3. 日米和親条約によって、長崎に代わって伊豆半島の下田が日本唯一の貿易港となり、アメリカへの生糸の輸出が本格化した。 4. 幕府は攘夷を断行するために下田を開港し、最新の武器を大量に輸入してアメリカ艦隊を退けるための拠点とした。